

持続可能な地域コミュニティ 共創カレッジ

～ College of Sustainable Local Community ～

少子高齢化や人口減少によって、地域の基礎的なコミュニティである集落や行政区などでは、地域活動の担い手不足や関係性の希薄化により、良好な住環境の維持が難しくなるなど、様々な課題が現れています。

こうした中、地域に必要な生活サービスやなりわいを維持・確保し、住民が将来にわたり暮らし続けることを目指す地域運営の仕組みである「小さな拠点」や、その運営を担うとともに従来の地域コミュニティの活動を補完する「地域運営組織（RMO）」の取組が注目されています。

本事業では、小さな拠点・RMOづくりに必要なスキルを実践的に学ぶほか、同じ思いを持つ仲間との交流などを通じて、持続可能な地域コミュニティの共創を目指します。

共創カレッジで得られる
持続可能な地域コミュニティづくりの

3つのポイント

①

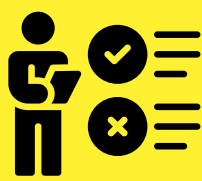
ヒント



地域コミュニティが抱える様々な課題に対して、解決策となり得る取組を事例を交えて紹介し、伴走支援を行います。

②

スキル



持続可能な地域コミュニティづくりに必要な住民等との「話し合い」を円滑に行うための手法を実践形式で学ぶ機会を設けます。

③

ネットワーク



県内で同じ思いを持つ仲間と交流し、課題や悩みを共有することで、互いの活動をシンカさせるきっかけをつくりまします。

「地域共創カレッジ」の全体プログラムは裏面をご覧ください

■ 小さな拠点とは…

小学校区など、複数の集落が散在する地域において、商店、診療所等の日常生活に不可欠な施設・機能や地域活動を行う場を、歩いて動ける範囲に集め、さらに周辺の各集落との間をコミュニティバスなどの個通手段により結んだ地域の拠点。

■ 地域運営組織(RMO:Region Management Organization)とは…

地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。

持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ 全体プログラム

共創カレッジ2年目は、初年度の内容を継承しながら、市町村や地域づくり関係者の皆さんのニーズに応えるよう、地域運営組織や小さな拠点の形成につながる実践的な取り組みを行います。

出前講座に加えた企画会の開催や、スキルアップ研修会の参加同士のネットワークづくり支援など、パワーアップした内容で行ってまいります。

皆様のご参加をお待ちしております！



地域コミュニティを考える 出前講座

小さな拠点・RMOの制度概要や取組のメリット、事例等を紹介する出前講座を開催し、その後、講座後に地域のコアメンバーと話し合う企画会を実施します。

- 実施時期
令和7年8月～10月
- 実施箇所
3市町村・地区
- 対象者
地域住民(行政区長等)
- 補足事項
実施箇所は市町村に別途照会した上で決定します。
(令和7年6月照会予定)

【タイムスケジュールイメージ】

- ① 県の施策説明 (15分)
 - ② 小さな拠点・RMO概要 (20分)
 - ③ 事例発表(県内RMO) (25分)
 - ④ 参加者同士の意見交換 (30分)
- ※内容は市町村と打合せ・調整した上で実施

地域コミュニティ共創 スキルアップ研修会

小さな拠点・RMOの取組を進めるためには、住民等による話し合いと合意形成が重要です。研修会では、話し合いをまとめるためのファシリテーションスキルなどを実践形式で学びます。

- 実施時期・回数
令和7年8月～11月
全4回(毎月1回)の連続講座
- 対象者
市町村職員、集落支援員、地域おこし協力隊 など
- 定員
20名程度
- 募集時期
令和7年7月に市町村を通じて募集します。

【各回テーマ(予定)】

- ① ファシリテーション研修
 - ② グラフィックレコーディング研修
 - ③ ロールプレイング研修
 - ④ まとめ(参加者同士の意見交換)
- ※研修後、参加者の地区でフォローアップも実施予定(1～2地区)

地域コミュニティ 連携フォーラム

自治体関係者やRMO、中間支援組織に加え、小さな拠点・RMOの取組に関心のある地域づくり関係者などを対象に交流会を開催し、それぞれの取組の共有や情報交換を行います。

- 実施時期
令和7年11月頃(予定)
- 対象者
市町村職員、集落支援員、地域おこし協力隊、RMO事務局、取組に関心のある地域づくり関係者 など
- 補足事項
企画内容は調整中。
詳細が決まり次第、改めてご案内します。

最新情報は
こちらから！
(福島県HP)

